

平成 27 年度日本看護研究学会 近畿北陸地方会 総会報告

【報告事項】

1. 平成 27 年度事業報告

1) ホームページについて

平成 27 年度ホームページ更新・管理費用は 95,040 円であった。また、アクセス数は 7212 件あり年々増加の傾向にある。以上が資料に基づき報告された。

2) リレーブログの更新について 明神一浩先生

リレーブログへの投稿は、月に一回行なわれた事が資料を基に報告された。次年度は各県で投稿者が偏らないようにご担当投稿者について審議事項で検討することとなった。

3) 継続セミナーについて

①第 21 回継続セミナー

開催日：平成 27 年 10 月 24 日（土）13:00～17:00

場 所：福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター白翁会

参加者：26 名（会員 22 名、非会員 4 名）

第 1 部

講演 1 「量的研究からみた手洗い効果の検証」 山本恭子（園田学園女子大学教授）

講演 2 「質的研究からみた EBN」 増田安代（藍野大学看護学科教授）

講演 3 「EBN に基づいた術後せん妄看護」 松浦純平（近大姫路大学看護学部講師）

講演 4 「研究事例から科学的なアセスメントから」 藤本ひとみ（福井医療短期大学看護学科教授）

②第 2 部 グループワーク

4) 第 22 回継続セミナー

開催日：平成 27 年 12 月 19 日（土）13:30～17:00

会場：園田学園女子大学

参加者：31 名（会員 25 名、非会員 6 名）

第 1 部

講演 1 「臨床現場で抱く疑問を研究してみよう」

沖原由美子（聖隷淡路病院 総看護部長 認定看護管理者）

講演 2 「看護研究に使える！知っておきたい統計豆知識」

古川 秀敏（関西看護医療大学 准教授）

第 2 部 グループワーク

以上が資料に基づき報告された。

5) ニュースレターについて

第 18 号は 9 月 10 日に Web 及び Mail、第 19 号は 11 月 25 日に紙面及び Web にて配信した。費用は 168,661 円であったことが報告された。

6) 平成 27 年度会計報告

収入 710,000 円、支出 386,313 円であり、今後ホームページ管理費が 95,040 円支出となる予定であることが資料に基づき報告された。

【審議事項】

1. 平成 28 年度事業計画について

1) ホームページ関連すること

ホームページの更新は業者に委託することで次年度計画は承認された。28 年度投稿原稿以来は、事務局だより年 4 回、世話人代表挨拶、総会報告、第 29 回学術集会報告、第 30 回学術集会案内、看護

研究継続セミナー案内であり、原稿依頼もなされ承諾された。

2) リレーブログについて

28年度もリレーブログを月1回のペースで掲載していく。リレーブログ担当は、現在世話人会の方に依頼しているが、掲載者に偏りが出てきているので、世話人の方に次の掲載者を紹介していただきその方に原稿を依頼することで承認された。また掲載は会員の方もしくは入会される方をお願いする。原稿はリレーブログ担当の普照先生に提出し掲載の運びとなることが承認された。

リレーブログのIDとPWの更新の時期である。本年度中に予算計上し郵送で地方会会員に郵送となった。宛名シールは地方会事務局より本学会に依頼し普照先生に送ることで承認された。本予算は、27年度予算より支出することで承認された。

3) ニュースレターに関すること

27年度は紙面発送1回及び地方会会員へのmail配信、Webでの公開2回を行った。しかし、ホームページを見ない会員もおり、紙面郵送とWeb公開、地方会会員へのMail配信を計画している。発行は年2回を計画したいと提案がなされた。27年度に年1回のWeb公開及び地方会会員へのmail配信と決まっており、次年度の予算計上はされておらず28年度は現行どおりで承認された。

今後の活動は広報という視点より、ニュースレター、ホームページ、リレーブログを含んだ委員会を立ち上げ、再検討を行う方向で検討が必要である。ニュースレター、ホームページ、リレーブログの担当者他の意見を踏襲し活動を行う事で承認された。

4) 継続セミナーに関すること

28年度は北陸地方で1回、近畿地方1回の年2回を計画している。1回目は10月8日(土)富山福祉大学で開催し近畿はこれから募る予定であることが説明され承認された。

2. 平成28年度予算(案)について

収入：地方会補助金500円×近畿・北陸地方会 会員数 720,000円、

支出：事務費30,000円、世話人会会議費40,000円、ニュースレター編集・発行費50,000円、ホームページ管理費200,000円、看護研究継続セミナー補助費270,000円、学術集会補助100,000円、雑費30,000円 合計720,000円が説明され承認された。

3. 会則の変更案について

一般社団法人日本看護研究学会定款、定款施行細則、地方会施行細則に基づき、近畿・北陸地方会会則の改訂案が出された。①誤字の訂正、②使われている表現文言を学会定款の地方会施行細則に合わせることで、改訂案は承認された。

4. 世話人代表選挙について

Web上で選挙を行う。地方会総会で会則変更について承認を得た後に、日本看護研究学会定款、定款施行細則、地方会施行細則、近畿・北陸地方会会則、選挙規定に基づき行うことで承認された。

5. 第30回 地方会学術集会長推薦について

大阪医科大学看護学部 荒木孝治先生が推薦され承認され、荒木孝治先生より次期学術集会開催に向けてご挨拶いただいた。

6. その他

1) 近畿・北陸地方会 学術集会への発表資格について

第29回学術集会に学部学生の投稿があった事が昨日判明した。学術集会事務局で検討したところ附則5で看護学生の発表は各地方会の決定に委ねるとなっていた。しかし、近畿・北陸地方会会則にその旨が示されていない。今後のために本件についても地方会会則に定めてほしいとの意見が出され審

議され以下のように世話人会で決定したことが説明され、承認された。

①学生の発表は会員でないため不可

②学生発表の希望があった場合は、学生発表セッションを設けるなどして、会員の発表とは区別する。
尚、抄録掲載はしない。交流セッション的な扱いとする。

③地方会会則に細則を設け、「学術集会における発表は会員のみとする」の文言を記する。
今回は、抄録集に掲載されており特別に認めた。

平成 27 年度近畿・北陸地方会 会員数 1,495 名 (平成 28 年 3 月 5 日現在)